

エダアシクラゲの生物学：生物地理学から 時間生物学まで小さなクラゲからわかること

立花 和則 東京工業大学 生命理工学院

6月10日(金) 4:30PM - 6:00PM 理学部 E館1階 131講義室



私たちが研究しているのはエダアシクラゲという傘の直径が5ミリメートルにも満たない小さなクラゲである。世界中に広く分布していて、日本でも北海道から沖縄までに普通に見られる。エダアシクラゲは水族館の展示で人々に癒しを提供することもなく、特に漁

業に被害も与えず、人を刺すこともなく、一部のクラゲ愛好家や研究者以外にはほとんど知られていない。この小さなクラゲを研究して何がわかるのだろうか。クラゲは不死（無限の寿命）だといわれるが本当だろうか？クラゲにも免疫がある？クラゲは脳が無い（散在神経系）のに寝る（睡眠様行動をとる）のか？今回はそういう疑問に答えようとしている私たちの研究を紹介します。

立花さんは生命理学で博士をとったひとです（結構昔だけど）。

連絡先：金森 章 ext. 2537, kanamori@bio.nagoya-u.ac.jp